

# 関常幸 議会報告

第27号  
2012.7

発行責任者  
南魚沼市議会議員 関 常幸  
南魚沼市浦佐2015番地  
TEL 025-777-2245



## 災害は忘れないうちにやって来る！

平成 16 年 7 月の新潟福島豪雨災害、10.23 中越大震災、平成 19 年 7.16 中越沖地震、今年の 3.11 東日本大震災、7 月の新潟福島豪雨災害から私たちは何を学んだか……。 「天災（地震や水害）は忘れたところにやってくる」と言われ、防災の警句として使われている。

例えば、100 年に 1 度とかの豪雨災害は、誰もが忘れてしまい、備えが不十分となり被害が大きくなる。また、その洪水から生命財産を守るために、堤防の能力をかき上げたとしても、それを乗り越える豪雨災害はゼロにならない。それを乗り越えたときは、更に大きな被害となる。

地震や豪雨の災害は防ぐことはできないが、発生した災害を憂いのでなく、発生した災害の教訓を、次の災害への備えが進まないことを憂い。

### 言いかえれば

#### 「災害は備えが進まない所にやって来る」

「備え」とは、耐震施設の強度とか堤防を頑強にするとかのハード重視ではなく、住民個々の災害発生時の連絡体制や、地震や水害への防災意識の心構えのこと。

7 月 6 日各新聞は、福島第 1 原発事故を「人災」と報じた。国会の原発事故調査委員会は、地震にも津波にも耐えられない、脆弱な状態だったと総括する。その報告に、東京電力と国に、改めて怒りが込み上げてくる。

電気等のエネルギーが無ければ、生活できないので地震列島日本は、福島原発の教訓から、脱・原発の方向だ。しかし、即、廃炉は難しいので、地震・津波に耐えうる補強工事をした原発から稼働し、代替えエネルギーを確保したら、原発は計画的に廃炉にする。

#### 「災害は忘れたところにやって来る」でなく

#### 「災害は忘れないうちにやって来る」



昨年の豪雨水害・道路寸断！

## 6月定例議会 ～ 井口市長、10月の市長選挙に出馬表明！

六月十二日から二十二日まで、定例議会が開かれた。開会冒頭に、全国市議会議長の表彰伝達式が行われる。被表彰者は、阿部俊夫議員（在職15年以上）牛木芳雄議員・若井達男議員（在職10年以上）。三氏は、六日町時代からの議員で、議会の中心的な役割を果たしており重鎮です。表彰おめでとうございます。

市が二分の一以上出資している公の施設は、議会に報告することになっており、「土地開発公社」と「しやくなげ湖畔開発公社」の経営状況の説明をうける。しやくなげ公社の経営は、一連の災害により、通行止め等で入場者の減少により厳しい経営だ。

議会最終日に、平成33年度までの財政状況を見通した財政計画の説明を受ける。税収や交付税の推移等議会の責務としてしっかりチェックしていく。

## 一般質問(6月18日)

一般質問でトップバッターと言うのは初めてだ。質問の内容から、質問順番が二日目や三日目にならないようにと、毘沙門様をお願いした。その願いが、阿部議長さまに通じ、一番くじを引いていただいた。

### ●市長選挙への3選出馬を問う!

思い起こせば、4年前の選挙は11月9日・告示、一か月前になっても対抗馬の動きは無く、私は無投票再選と思った。

突然10月15日と19日に、城内病院小山院長先生から2通の手紙が来た。「地域医療への熱き思い」が記され、事実上の市長立候補表明だった。

選挙結果は、井口一郎 18,350 票、小山信二 12,734 票と、大変な選挙で大激戦だった。

4年前の市長選挙は、野球場建設が問われた選挙で、民意は野球場建設の井口市長を選んだ。それにもかかわらず、この4年間「野球場建設反対」を切り口に、井口市政に難題を投げかけ、次の市長選挙、すなわち今年の11月の市長選挙には、野球場建設反対の我々から、市長候補を出すという声が、常に底辺にあった。

井口一郎後援会本部役員会が5月20日開催された。井口市長は「3町の合併の約束は、ほぼ達成した……、新市長にふさわしい人に、バトンタッチをしてもいい、と言う時期があった……」と、その胸の内を紹介し、今まさに熟慮中と話す。

この2期・8年間は、3町の「合併」という行政課題だけでなく、今まで、遭遇したことのない天地異変(地震、豪雨災害)の自然災害を乗り越えながら、南魚沼市初代の市

長として、融和を基軸に、1期目は新市の「土台と柱」を建てた。2期目の今、その土台と柱に「屋根」をかけた。

柱と屋根だけでは、安心して暮らせない。

家に例えれば、戸や窓や、台所やトイレは、そして、じいちゃん・ばあちゃんの部屋は、子どもの部屋はと、それぞれの年代に合った、きめ細かな造作をしてもらわなくては、安心・安全に暮らすことは出来ない。

言い換えれば、これからの4年間は、まさに一番重要な時期だ。

南魚沼市・初代の市長として、次の4年間で仕上げをし、次にバトンタッチすべきだ。

### <市長>

懸案の魚沼基幹病院の建設が始まり、合併前の市民との約束はほぼ達成したので、3期目の立候補、するか否か熟慮した時期もあったが、地域医療の核となる「六日町病院」と「大和病院」の確立。そして、昨年7月に発生した豪雨災害の復旧・復興を、一日でも早くやり遂げなければならないので、再度11月の市長選挙に立候補し、市民の判断を仰ぎたい。

### ●新図書館の運営について

六日町駅前の「ショッピングセンター・ララ」内に建設される図書館は、16年度オープンを目指している。

新図書館の役割は、中心市街地を活性化させる責務も担っている。その運営はいかに。

### <市長>

市、直営で管理運営を行う。医療施設とスーパー等の施設との、複合施設の図書館として、図書館運営だけでなく、中心市街地に賑わいを取り戻すための、図書館運営を行う。

## トピックス

4/9 浦佐小、大和中入学式



5/15 姉妹都市セルデン町30年  
山岳リゾート国際フォーラム

5/22 特別養護老人ホーム  
「雪椿の里」竣工式



5/28 議場に  
国旗・市旗掲揚



## 6月議会概要(12日~22日)

### ★ 市長所信表明



昨年の豪雨災害による農地復旧は、大雪で作付が間に合うか心配されたが、甚大な被害地域を除き順調に進んでいるが、一日でも早い完全復旧を目指している。

- ・魚沼基幹病院関連で、大和庁舎内に「コホート研究室」がスタートする。
- ・平成24年度国民健康保健税は据え置きとする。
- ・特別養護老人ホーム「雪椿の里」(特養70床……)が6月1日スタート。
- ・市立総合支援学校、大原運動公園、図書館建設も順調に進んでいる。
- ・北信越高校総体自転車競技が7月28日からテニスが8月9日から当市を会場に開催。
- ・国交省の本年度予算内示状況の説明。

(六日町バイパス15千万円、浦佐バイパス65千万円、八箇峠335千万円……)

- ・3年目を迎えた住宅リフォーム事業、今年も多くの申し込みあり。
- ・「人・農地プラン推進チーム」を立ち上げる。
- ・道の駅「南魚沼」が7月1日にオープンする。
- ・10月6日、7日に「国際ご当地グルメグランプリ」が牧之通りで開催。
- ・(株)プリンスホテルが八海山スキー場で採取した水を「南魚沼のおいしい湧水」として販売。

注 コホート研究とは、長期間にわたり健康状態や生活習慣や環境の状態などの関係を調べ病気の原因を探る研究です。

### ＜ 議会初日、第73号議案、第74号議案に反対議員6名……！ ＞

両件とも野球場建設工事に関する請負仮契約についての案件で、73号議案は土木工事で、元店・カネカ特定共同企業体が568,785,000円で落札。74号議案は建築工事で、新潟セルテック・笛田特定共同企業体が724,290,000円で落札。5月31日に、地元の業者が企業体を組んで、各3社による制限付き一般競争入札が行われたもので、議会で可決して本契約となり、工事に入ることとなる。

普通この種の案件で、議会で問題が発生する場合は、入札に談合があったり、金額や契約行為に瑕疵があったりすれば、反対討論が出て不採択となり、入札等はやり直しとなるケースもある。

今回の反対者の討論の内容は、議案の工事請負契約の内容についてではなく、自分の政治信条を述べただけであった。こういう討論もあるのかなと思い、然るべきところに聞いたら「おかしいですね…！」と言う返答でした。

入札に参加された業者の皆さんや執行部にはどのように映ったのだろうか……。

3月議会で、野球場建設に関する予算が上がり、それを除いた修正案が出されたが、否決され、原案が継続費も含め可決された。今回はその議決を受けての、工事請負契約の議案であり、反対者の真意はわからない。今まで4年間野球場建設に反対してきたからか。

26年の新野球場こけら落としに、「東京六大学野球のオールスター戦」が行われると言う話もあるのに……水を差すのか。それとも、11月の市長選挙の前哨戦か！

6/2 親子田植え教室



6/3 東京やまと会総会

7/1 市総合防災訓練



7/6 自衛隊協力会総会

## かわら版(ミニ情報)

### ★「市立病院(六日町・大和)のあり方について議会全員協議会開催」

基幹病院の建設が始まるまでは、県の対応等色々あって、市立病院の整備について、議会に提案できなかったのではと推察する……。基幹病院は5月11日に起工式を行った。基幹病院は27年開院に向けてすすむ。

ゆえに、5月28日議会全員協議会が招集され、井口市長、宮永院長より、市立病院整備について説明を受ける。

大和病院の先生方が、議論しまとめた14ページの小冊子により、「地域医療」とはから始まり、医師の確保、経営の健全化、病院の役割、病院の機能、病院の整備方針、病院の規模と位置の説明を受ける。

普段は、執行部に出る質問や意見もこの時は、ほとんど出なかった。現場の先生の考えであり、何よりも「地域における医療のビジョンは、地域の医師が策定する」「医師は自前で確保する」に、全幅の信頼を寄せた会となった。議会は医師の応援団であるべきと思った。



### ★会派行政視察(5月10日~12日)



#### ●市民(NPO法人)との協働による図書館運営(人口5.4万人萩市)

平成23年3月に開館した図書館運営は「萩方式」と呼ばれており、延べ床3000㎡、蔵書数22万冊。正月も休館日なく原則年中無休。開館時間も午前9時から午後9時まで。

当市の建設予定の図書館もほぼ同規模で、市で運営するとい

#### ●地域医療を守る取り組み(人口5万人益田市) うことだが、ここに学ぶことがたくさんある。

市内の日赤病院が、医師不足により産婦人科が診療休止になり、里帰りお産ができなくなった。市は市立の病院をもたないが、「地域医療対策室」を、議会は、「地域医療対策特別委員会」を設置し、医師不足を「県任せ、病院任せでない」取り組みが始まった。



#### ●議会基本条例(人口15万人出雲市)

全国に先駆けて、平成19年に議会改革の一環として議会基本条例を作る。その取り組みの背景や内容について調査する。そして、「ふるさと納税」の取り組みも、大変参考になった。

### ★浦佐区会西山巡回(5月20日)

新年度に入り区長さんの初仕事！となりの村や町との境や大雪等で山が荒れていないかを確認する行事。そして、浦佐の西山に、三か所ある「十二山大神」にお神酒やお供えものを捧げ、山の安全と五穀豊穰をお祈りする。



### ★第3回南魚沼グルメマラソン(6月10日)

八色の森公園を約4,000人のランナーが、スタート時に「いただきまーす」と言ってスタートする。走り終わると、グルメ村に一目散。ステージではライブで盛り上がる。

全国マラソン大会、百選の上位に選ばれる。



福田六花さんと松任谷さん

#### 編集後記

◇八色すいかは、夏の代名詞。暑い夏スイカを食べて乗り切ろう。

◇夏バテと暑さ対策に、熱いお茶がおすすめ。

◇お中元に送った「八色しいたけ」肉厚と絶賛される。

◇政局が熱くなってきたが、国民目線で暑くなってもらいたい。衆議院解散目の前だ。熱く燃える前村長を送ろう。